

【だれでも参加できる緊急討論会】

介護福祉士資格の【国家試験一元化】にさらなる延期が必要か？

みんなで考える介護福祉の専門性と国家試験

～介護福祉士養成施設卒業生に対する国家試験の義務付けの延長問題を受けて～

2019年11月11日の第23回社会保障審議会福祉部会で行われた議題「介護福祉士養成施設卒業生に対する国家試験の義務付けについて」の議論の中で、延長賛成、反対の意見が分かれました。賛成意見では「介護従事者確保の困難性」「国試における外国人の合格率の低さ」などの理由が、反対意見では「介護福祉士資格の専門性の確立」「介護チームリーダーの必要性」などの理由が出されました。

介護福祉士の資質の確保・向上に必要とされた資格取得方法の一元化(全ての者に一定の教育プロセスと国家試験義務付けを実施:平成19年改正)からすでに10年を経っていますが未だに実現していません)

今回の集まりは、介護福祉士養成に携わる教員、福祉系高校、介護施設職員等、どなたでも参加できます。介護福祉士国家試験に対する率直な意見を自由に語り合い、これからの介護を支える人材の養成についてみんなで考え、言葉にし、今後どのように発信していくか方向性を出しましょう！

■日時

2019年12月1日(日) 12:30 開場/13:00 開始(15:00 終了予定)

■会場

目白大学新宿キャンパス 研心館 2階

東京都新宿区中落合 4-31-1

<https://www.mejiro.ac.jp/>

■参加費

資料代 200円

■発言予定者(依頼中)

介護福祉士養成校教員、日本介護福祉士会会員、福祉系高校教員

■お問い合わせ

目白大学 介護福祉士養成委員会 荻原順子

ebara@mejiro.ac.jp